

2019年5月14日
株式会社豆蔵ホールディングス

Flash (Flex) ベースの業務システムからのコンバートツールの無償提供開始 ～HTML5 への移行と比べ、コスト最大 70%削減を実現～

株式会社豆蔵ホールディングス(証券コード：3756、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 浩二)の事業会社である、株式会社オープンストリーム(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉原 和彦、以下 オープンストリーム)は、Flash (Flex) ベースで構築された業務システムを、オープンストリームが提供しているビジネス UI プラットフォーム「Biz/Browser」への移行を行える Flex コンバートツールの無償提供を 2019 年 5 月 14 日より開始いたしました。

【開発背景】

Flash (Flex) は、2020 年末にメーカーサポートが終了し、それまでも主要ブラウザベンダーのサポートが段階的に終了することを発表しており、Flex の開発元の Adobe 社は HTML5 への移行を推奨しております。しかしながら HTML5 への移行は、サポート終了のための改修となりシステム的に改善される理由ではないため、予算確保の困難さに加え、Flex と HTML5 の UI 設計が根本的に異なるため UI 部分の改修だけではなく、サーバー通信の改修も発生します。そのためサーバーサイドアプリケーションからクライアントアプリケーションの全面的な改修となり大幅なシステム改修工数が発生します。

また改修後の業務システム操作は Web ブラウザを利用するため、Web ブラウザの種類やバージョンに合わせた開発運用コストが発生します。

今回リリースした Flex コンバーターツールにて Biz/Browser へ移行することにより操作性、見た目はほぼそのまま状態を維持し移行コスト最大 70%削減※可能となります。

※当社工数シミュレーションによる想定値

【Flex コンバートツールでの移行概要】

Flex コンバーターツールは、当社が開発した MXML コンバーターに加え各種互換性のライブラリを提供しているため、大幅な移行コストの削減が可能になります。

(1) クライアントアプリケーション画面定義の移行

MXML コンバーターでクライアントアプリケーション画面定義移行を行います (90%以上)。
Flex アプリケーションの外観、操作性を遜色なく再現します。

(2) クライアントアプリケーションロジックの移行

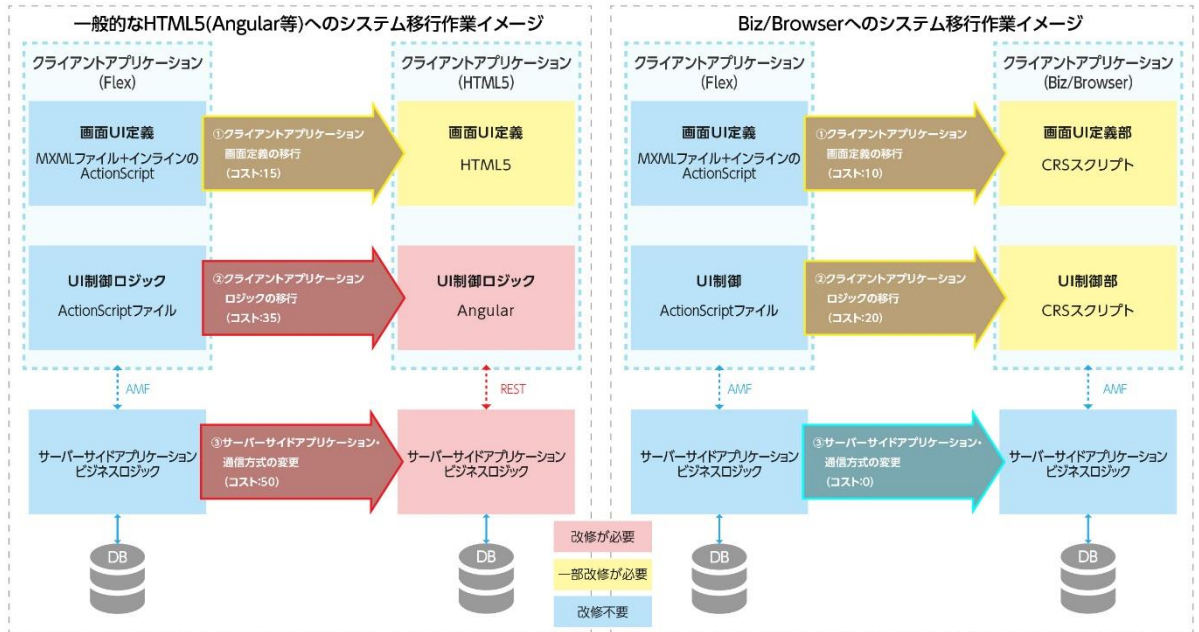
コンバートツールにて ActionScript から、CRS※スクリプトファイルにコピーされ、Action Script と CRS スクリプトの文法差異部分を改修。Flex3 の主要クラスとの互換ライブラリを利用できるため追加の機能実装は最小限に抑えられます。

※CRS：Biz/Browser 専用のスクリプト言語。

(3) サーバーサイドアプリケーション・通信方式の変換不要

Biz/Browser では、Flex で作成されたシステムにおいてクライアントアプリケーションとサーバーサイドアプリケーション間の通信フォーマットとして多く利用される AMF 通信をサポートしています。

そのためサーバーサイドアプリケーションの資産をそのまま流用することが可能となるため、通信フォーマットの変更等によるサーバーサイドアプリケーションの改修コストが発生しません。



Biz/Browser のシステム移行イメージ

HTML5への移行作業	Biz/Browserへの移行作業
①クライアントアプリケーション画面定義の移行	
MXML コンバーターでクライアントアプリケーション画面定義の移行を実施 (80%)。アプリケーションの外観、操作性が大きく変わります。 一部手作業 コスト: 15	MXML コンバーターでクライアントアプリケーション画面定義の移行を実施 (90%以上)。Flex アプリケーションの外観、操作性を遜色なく再現します。 一部手作業 コスト: 10
②クライアントアプリケーションロジックの移行	
コンバートツールにて ActionScript から、Angular のスケルトンが TypeScript で生成されますが、内部処理ロジック、Flex3 ライブラリと Angular ライブラリとの機能差分については、一から実装が必要となります。 手作業 コスト: 35	コンバートツールにて ActionScript から、CRS スクリプトファイルにコピーされ、Action Script と CRS スクリプトの文法差異部分を改修します。Flex3 の主要クラスとの互換ライブラリを利用できるため追加の機能実装は最小限に抑えられます。 手作業 コスト: 20
③サーバーサイドアプリケーション・通信方式の変更	
クライアントアプリケーション、サーバーサイドアプリケーション間の AMF 通信を一般的な通信方式へ変更します。また通信方式の変更によるサーバーサイドアプリケーションの改修を行います。 手作業 コスト: 50	Biz/Browser の持つ AMF 通信ライブラリを利用できるためサーバーサイドアプリケーションを変更・改修することなくそのまま流用が可能です。 作業不要 コスト: 0
移行コスト: 100	移行コスト: 30

移行作業比較表

【提供内容】

- MXML コンバーター
MXML を CRS へコンバートするツール。
- Flex3 SDK 互換クラスライブラリ (Flex3 SDK for CRS)
Flex3 SDK のクラスを CRS 上で再現するための互換クラスライブラリ。
- AMF 通信ライブラリ

【Biz/Browser によるシステム移行支援サービス】

規模、ご予算、ご要望に合わせ事前検証や PoC、準備段階から全面支援。ビジネス UI プラットフォーム「Biz/Browser」への移行にあたっての実現方法の検討から、移行ツール開発・検討含めた包括的な提案を無償にて行います。また技術支援をご希望の場合は、有償にてシステム移行作業支援をご用意しております。

(1) Flex⇒Biz/Browser 移行診断（無償）

Flex⇒Biz/Browser 移行診断ツールを使い UI 定義のコンバート率を算出します。Biz/Browser アプリケーションへのコンバート後、どの程度改修が必要となるかを計ることができます。

Flex⇒Biz/Browser 移行診断ツールは無償にて提供しております。お客様自身で実施いただくことも可能です。

(2) システム移行見積支援（無償）

移行診断の結果を受けて、Biz/Browser アプリケーションへの移行にかかるお見積作成の支援を行います。

Biz/Browser アプリケーションの見積作成にあたり、必要な場合は当社開発パートナーをご紹介します。

(3) システム移行作業支援（有償）

Flex から Biz/Browser アプリケーションへの移行改修作業の支援を行います。

- ・UI 定義移行作業：移行ツールでコンバートできなかった部分の移行作業を行います。
- ・UI 制御移行作業：ActionScript を Biz/Browser のスクリプトコード（CRS）への移行作業を行います。

【参考】

Biz/Browser ソリューション「Flex で開発された業務システムへの救済策は？」

https://www.opst.co.jp/bizbrowser/solution/bizsol_007/

【Biz/Browser について】

「Biz/Browser」は、業務システムのためのアプリケーション開発・実行環境です。

「Biz/Browser」でアプリケーションを開発することにより、業務システムで要求される高効率の入力環境を実現する最適なユーザーインターフェース(アプリケーション画面)を提供できます。

また「Biz/Browser」は様々な OS や端末に対応しており、Biz/Browser で開発したアプリケーションは、OS や端末にあわせて改修することなく様々な端末環境で動作させることが可能になります。加えて端末 OS のアップデートや利用端末機種の変更等によるシステム動作環境の変化を吸収し、業務アプリケーションへの影響を最小化します。これにより業務システムの長期安定稼働を支え、システムの運用負荷・運用コストを大幅に削減します。

今後もオープンストリームは、製品、ソリューション等を通じて、お客様の業務システム活用促進とそれによる事業拡大と業務改革に貢献してまいります。

【株式会社豆蔵ホールディングス 概要】

所在地 : 〒163-0434 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 34 階
設立 : 1999 年 11 月
代表者 : 代表取締役社長 佐藤 浩二
資本金 : 881 百万円
URL : <https://www.mamezou-hd.com/>

【株式会社オープンストリーム 概要】

本社 : 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 9 階
設立 : 2000 年 1 月
代表者 : 代表取締役社長 吉原 和彦
資本金 : 2 億 6,260 万円
URL : <https://www.opst.co.jp/>

※記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本ドキュメントの掲載内容は発表時の内容です。

【本製品に関するお問い合わせ先】

株式会社オープンストリーム プロダクト事業部
TEL : 03-4589-8911
URL : <https://www.opst.co.jp/bizbrowser/contact/flex>
E-mail : product-info@opst.co.jp

【本ニュースリリースに関するお問合せ先】

株式会社オープンストリーム 業務推進本部
TEL : 03-4589-8800 FAX : 03-4589-8810
E-mail : bpd@opst.co.jp